

「市民学芸員」第9期活動始まる

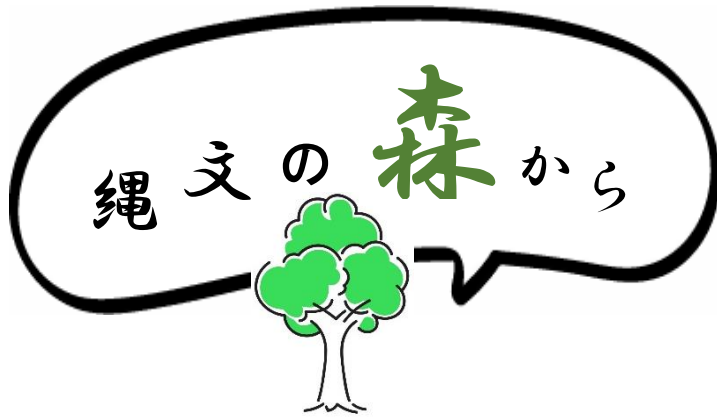


富士見市の二つの資料館、すなわち水子貝塚資料館と難波田城資料館には、「市民学芸員」という名前のボランティア制度があります。

市民学芸員になるには、3年に1回開講される、全8回の講座「富士見の歴史を学ぼう」を受講し、さらに、水子貝塚コースか難波田城コースの専門講座（各4回。両方受講も可能）を修了すると、市民学芸員として登録することができます。

市民学芸員の主な活動は、来園者へのガイドや展示解説、小学校の校外学習やイベントでの昔体験のサポート、などです。自主的な研修も盛んです。

2000年に制度が始まって24年。1期3年×8期を満了し、この4月、第9期の活動が始まりました。継続して活動する29名に、新たに登録した7名を加え、36名で、皆さんに水子貝塚公園の魅力を伝えていきます。



ヤマザクラ

縄文の森は、縄文時代の人々が実を食料として利用していたと考えられるドングリが実り、木材としても利用されていたコナラ、クヌギ、シラカシ、アラカシ、スダシイ、ブナ、マテバシイ、クリを中心に、武蔵野の雑木林に見られるケヤキ、エノキ、ムクノキ、ヤマザクラ、ムクロジ、ホオノキなどの落葉高木、ヤブツバキ、サザンカ、ヒサカキ、アオキなどの常緑中低木、ウツギ、リョウブ、ガマズミなどの落葉低木が植栽、整備されています。



ニワトコ

4月は落葉樹の芽吹きと花の季節です。

ヤマザクラの薄紅色、ニワトコの白い花が森を彩り、ちょっとイモムシのような形をしたアカシデやクヌギなどの雄花が地面を覆うようになると、多くの落葉樹たちが一斉に芽吹き、新緑の季節がやってきます。



アカシデ

常緑樹たちもクスノキやマテバシイなどが古い葉を落とし、新芽を伸ばします。

常緑樹で特徴的なのはイスノキです。とても面白い小さな赤い花を咲かせます。

そしてさらに面白いのはその葉です。葉の真ん中に丸い膨らみがあるのです。これは、アブラムシの仲間（ヤノイスアブラムシ）が寄生してできた虫こぶ（虫えい）です。虫こぶはイスノフシアブラムシという種類では、大きくなって木化し、実のようになります。この大きな虫こぶは穴が開いており、それを吹くと笛になり「ひょう」という音がすることから、『ヒヨウの実』・『ヒヨンの実』等と呼ばれます。



イスノキ

縄文の森のイスノキにはイスノフシアブラムシはついていないようで、『ヒヨンの実』は見られませんが、葉にできた虫こぶを観察してみてください。

これから初夏にかけては、エゴノキやウツギ・外周のツツジなどの花も楽しめます。

資料館の
イチ
おし!



重い!

県立博物館に
兄弟がいるよ!

どんな貝があるかな?

現在企画展「ひらいた 考古館」を6月9日まで開催しています。そこで、長さ4メートルの貝層断面を展示しています。これは、1982年の発掘で出土した竪穴住居内の貝塚で、炉跡の断面も確認できます。貝層と竪穴住居跡の断面に、特殊な接着剤を吹き付け、ガラス繊維の布を貼って剥ぎ取ったものです。貝層の堆積状態を実物のまま保存するために開発された手法です。翌83年から考古館に展示されました。県内で最初に展示された貝層の剥ぎ取りは、40年経っても色あせることなく当時の状況を示してくれています。



発掘
ニュース



第二次世界大戦時の爆弾痕跡

南通遺跡は弥生時代の大規模集落跡で有名ですが、今回は、わずか79年前に落とされた爆弾の痕跡を紹介します。爆弾痕跡は、昭和20年4月2日、米軍機2機から針ヶ谷地区に投下された10発以上の爆弾のうちの1発です。爆弾は直径20m以上、深さ2m以上もの大穴を開け、その周辺の地面にも多くの歪みや亀裂を与えました。竪穴住居跡にも床面の陥没や無数の亀裂が入るなど、爆弾の威力がよくわかる調査となりました。

(協力：富士見市教育委員会生涯学習課)

南通遺跡第31地点(針ヶ谷2丁目)

調査期間 令和6年1月18日～2月21日



地中での爆発によりできた亀裂



爆弾の破片

5～7月のイベント予定

* イベント予定は変更することがあります
最新の情報は広報富士見か公式サイトで

企画展の情報

「ひらいた 考古館」6月9日(日)まで
市立考古館開館から50年のあゆみを紹介しています。

からむしの会ミニ展示 6月19日(水)から
原始・古代の手法により、草から作った糸や布などを展示します。

縄文の森コンサート

美しいフルートの演奏をお楽しみください。
演奏 フルートアンサンブルみよし
日時 6月30日(日)
午後2時～午後3時(1時30分開場)
会場 水子貝塚 展示館
定員 80人(先着順)
参加費 無料
申し込み 不要

夏休み縄文宿泊体験(全3日)

7月27日(土) 午前9時
～28日(日) 午前11時30分
土器づくり、縄文アクセサリーづくり、
夜の竪穴住居体験、縄文料理体験、自然
観察など

8月17日(土) 午前9時～12時
土器の野焼き

参加条件 小学4～6年生

定員 20人(先着順)

参加費 1500円

申し込み 6月1日(土)～7月7日(日)
電話で受け付け

土・日・祝は

体験!いつでもセブン

やっています!ぜひご参加ください!

まが玉や
貝の腕輪など
作れます～

土曜おもしろミュージアム

会場 体験学習室または学習広場
時間 午前10時～、午後1時30分～
各1時間程度
定員 各15人(当日先着順)
対象 小学生以上
(未就学児は保護者同伴で可)

日程	内容(参加費)
5月18日	ミニチュア土器(100円)
6月1日	貝の腕輪(100円)
6月15日	縄文の革のきんちゃくづくり (300円)
7月6日	縄文ポシェット(100円)
7月20日	ウッドクラフト(100円)



発行日 令和6(2024)年4月25日

編集・発行 富士見市立水子貝塚資料館

国指定史跡 水子貝塚公園内 〒354-0011 埼玉県富士見市大字水子 2003-1

水子貝塚資料館

検索

資料館 HP

二次元コード



☎ 049-251-9686

FAX 049-255-5596

